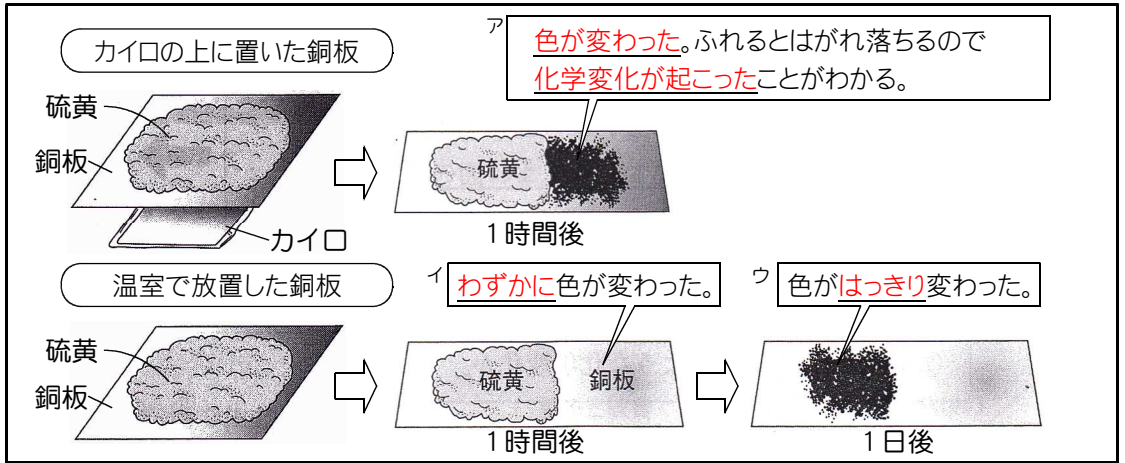


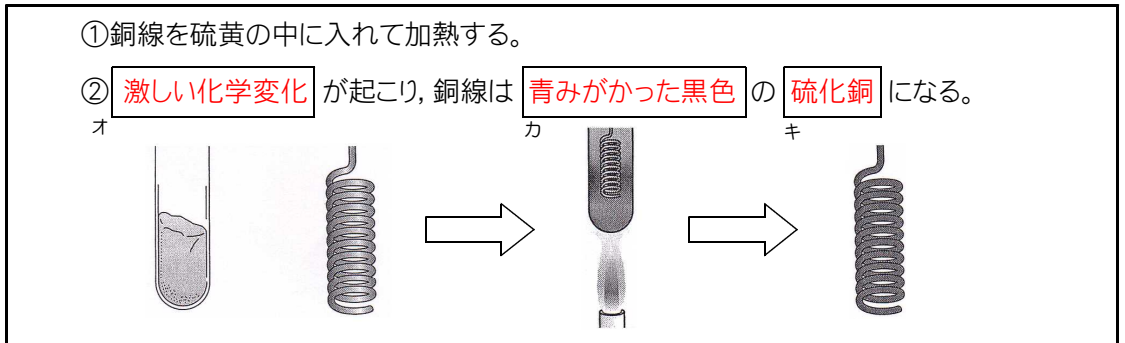
(1) 銅と硫黄の化合



実験のまとめ

この実験で、銅と硫黄が穏やかに化合したことがわかる。また、温度が高いほうが化合が進みやすいことがわかる。温度が低いと化合が進むのに時間がかかる。

(2) 銅と硫黄の化合



言葉の式	銅 + 硫黄 → 硫化銅
化学反応式	$\text{Cu} + \text{S} \rightarrow \text{CuS}$
モデル式	$\text{○} + \text{●} \rightarrow \text{○●}$

実験のまとめ

硫化銅は、**銅原子**と**硫黄原子**が**1 : 1**で結びついた化合物である。物質と硫黄との化合を**硫化**といい、**硫化**によってできる物質を**硫化物**という。多くの金属は、硫黄と化合しやすいため、自然界にある金属には、**酸化物**と同様に、**硫化物**として存在しているものも多い。